

日本と中国の高校生140名が中国で再会 さらなる友好促進へ 「日本 中国 ティーンエイジ アンバサダー」を実施

公益財団法人イオンワンパーセントクラブ（以下、当財団）は、10月9日（日）から9日間、中華人民共和国（以下、中国）の北京市・武漢市・青島市の3都市にて、中国と日本の高校生が交流を深める「日本 中国 ティーンエイジ アンバサダー」を実施します。

当財団は「諸外国との友好親善の促進」を事業目的の1つとして掲げ、1990年より、アジア各国と日本の高校生が互いの国への訪問を通じて交流する「ティーンエイジ アンバサダー」事業を実施しています。中国とは2009年より毎年継続して取り組んでおり、今回を含め累計1,050名が日本と中国をつなぐ小大使として交流を深めてきました。

この度の交流は、本年7月に日本で行われた招聘プログラムに続き、東京都及び千葉県・大分県・北海道の高校生計70名が北京市、武漢市、青島市に分かれて訪問を行うものです。交流ペアと再会するとともに、北京市政府への表敬訪問やカンフー体験、ホームステイなど、中国の歴史・文化や価値観に触れる活動を行い、さらなる相互理解と友好関係の深耕を図ります。また、在中国日本大使館が定める「日中交流集中月間」である今月は、当事業のほか、公益財団法人イオン環境財団により、15日に北京市で「中国北京市密雲植樹」が、16日に武漢市で小中学校への太陽光発電システム贈呈が行われ、それぞれの都市で活動する日中の小大使たちが参加します。

当財団はこれからも、日本と中国の未来を担う若者に相互理解を深める機会を提供し、両国の友好親善の促進に寄与してまいります。

【7月に日本で行われた「日本 中国 ティーンエイジ アンバサダー」の様子】



首相官邸にて萩生田内閣官房副長官（右端）を表敬訪問



日本の高校でペア学生とともに授業を体験する中国人学生（右）

【プログラム概要】

1. 期 間：10月9日(日)～17日(月)
2. 実施地域：北京市、武漢市、青島市
3. 参加者：日本（東京都、千葉県、大分県、北海道）の高校生 計70名
中国（北京市、武漢市、青島市）の高校生 計70名
4. 交流ペア：

チーム①	北京市（30名）と	東京都	筑波大学附属高等学校（20名）
		千葉県	千葉市立千葉高等学校（10名）
チーム②	武漢市（20名）と	大分県	岩田高等学校（20名）
チーム③	青島市（20名）と	北海道	札幌日本大学高等学校（20名）
5. 行動予定：

10月	9日(日)	移動日
10月	10日(月)	オリエンテーション、北京市人民政府への表敬訪問、 日本大使館での質問会・歓迎会
10月	11日(火)	万里の長城見学、中国外交部への表敬訪問
10月	12日(水)	※以降、チームごとに分かれて交流
		チーム① 北京企画展覽館・国家大劇場見学、中国カンフー体験
		チーム② 武漢市人民政府への表敬訪問
		チーム③ 青島市人民政府への表敬訪問
10月	13日(木)	
		チーム① APEC会議センター見学、七宝焼き作り体験、伝統芸術鑑賞
		チーム② 長江三峡クルーズ、三峡ダム見学
		チーム③ 青島大学留学センター見学、日本語授業体験への参加、伝統工芸品づくり
10月	14日(金)	授業体験・ホームステイ
10月	15日(土)	ホームステイ
		※1 北京市チームは「中国北京市密雲植樹」へ参加
10月	16日(日)	ホームステイ・フェアウェルパーティ
		※2 武漢市チームは小中学校への太陽光発電システム贈呈式へ参加
		※1・2ともに公益財団法人イオン環境財団主催
10月	17日(月)	帰国

【ご参考】 公益財団法人イオンワンパーセントクラブの主な活動内容

◆次代を担う青少年の健全な育成に資する事業

<イオン チアーズクラブ>

地域の小中学生の環境保全活動を支援。毎年夏に全国大会を開催。

<中学生環境作文コンクール>

環境問題に関する作文を募集し、優秀な作文提出者は生物多様性研修に参加。

<AEON eco-1グランプリ>

全国の高校 及び高校生のエコ活動を顕彰し、エコ活動の輪の広がりを支援。

<学校建設支援>

アセアン各国で子どもたちの教育環境の整備を支援。全国で実施した募金にほぼ同額を上乗せし、小学校校舎建設と附属設備の設置及び教員養成を支援。

<セーフウォーターキャンペーン>

学校建設を支援した地域で汚濁水を生活用水に使っている地域に、浄化した給水施設を設置することで子どもたちを健康面と教育面から支援。

【学校建設支援】



ネパール新校舎



ミャンマー新校舎



新校舎に喜ぶ子どもたち

◆諸外国との友好親善の促進に資する事業

<ティーンエイジ・アンバサダー>

海外と日本の高校生の相互交流活動。表敬活動、交流活動、歴史文化理解活動を通じ互いへの理解とグローバルな視野を持つことを支援。

<アジア ユースリーダーズ>

アジアの高校生・大学生が一堂に会し、開催地の社会問題への解決策を議論し政府へ提案することを通じ、各国の多様な価値観への理解を深めることを支援。

<イオン スカラシップ>

アジア各国で学ぶ大学生へ奨学金を給付し、次代を担う青年たちの夢の実現を支援。

【ティーンエイジ・アンバサダー】



首相官邸訪問



中国での授業体験



ミャンマーで托鉢体験

◆地域社会の持続的発展に資する事業

<ふるさと未来支援>

日本各地に伝わる固有の伝統的な文化・工芸・芸能の継承と普及を支援。

<災害復興支援>

大規模自然災害に見舞われた地域の人々を支援。

<公益法人への支援>

当財団の設立主旨に副う活動を行う公益法人を支援。

【ふるさと未来支援】



よさこい祭り



イオン ふるさと発見伝



イオン すくすくラボ

* 活動の詳しい内容はこちら (<https://www.aeon.info/1p/>) をご覧ください。